

会 議 録

令和元年 9 月作成

審議会等名	令和元年度 第 1 回 図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	令和元年 7 月 26 日 (金) 午後 2 時～ 4 時
開催場所	三条市立図書館 2 階 視聴覚室
傍聴者の有無	無
出席者氏名	<p>【協議会委員】</p> <p>倉品章委員長 長谷川優子副委員長 小林委員 関谷委員 山田委員 六原委員 松原委員</p> <p>【説明のための職員等】</p> <p>(生涯学習課)</p> <p>恋塚生涯学習課長 笹倉生涯学習課長補佐 (指定管理者)</p> <p>石原館長 中野業務責任者 村山副責任者 梅田副責任者 土田副責任者</p>
協議題	<p>(1) 委員長・副委員長選出について</p> <p>(2) 平成 30 年度の図書館利用状況について</p> <p>(3) 平成 31 年度 (令和元年度) の運営計画について</p> <p>(4) 図書館等複合施設建設基本計画 (案) について</p>
石原館長	(あいさつ)
出席者全員	(協議会委員、生涯学習課員、指定管理者職員の順で自己紹介)
石原館長	協議題 (1) 「委員長・副委員長の選出」について、自薦又は他薦など意向をお聞かせ願いたい。無いようであれば、事務局から倉品委員を委員長に推薦させていただきたい。
各委員	(異議なし)
石原館長	それでは、倉品委員に就任いただき、以降の進行をお任せしたい。
倉品委員長	同様に副委員長の選出について、自薦又は他薦などお聞かせいただきたい。
石原館長	事務局から長谷川委員を副委員長に推薦させていただきたい。
各委員	(異議なし)
倉品委員長	協議題 (2) 「平成 31 年度の図書館利用状況について」の説明をお願いします。
石原館長	(「平成 31 年度の図書館利用状況について」説明)
倉品委員長	(2) の図書館利用状況について、何か質問はあるか。
松原委員	大ざっぱな数でよいが、車椅子で図書館を利用している方が年間どのくらいいるのか。
村山副責任者	あまり見ない。見学の際に一人いる程度だ。
松原委員	実際に図書館に車椅子の方が来館するという事は、ほとんどないのか。それは何が原因か。

村山副責任者	本棚が高く、目線に合わないのでは。入口のスロープもきついようだ。
松原委員	実際に登れるのか。
石原館長	スロープは少し角度が急だ。
松原委員	建替えや変えることは、現状では無理だ。車椅子の方は、利用を諦めているのか。
石原館長	机の高さ、エントランス設計とか、そこが多少はネックになっている。
松原委員	来年はパラリンピックがあり、パラリンピックの競技者の姿を目にしている。三条にできる新しい図書館は、現行を踏まえ、そういう方にも利用できる形なのかどうか。現状は大体わかった。
倉品委員長	非常に大事なところだ。特に新しい施設をということでもあり、配慮していくべき。
六原委員	老人施設等に対し「図書館に来てみませんか」、「こんな新刊が出ましたよ」といった声かけは、図書館側としてはやっているのか。
石原館長	その方々に対する広報活動は、遅れていると思っている。
六原委員	実際には車椅子が館内を回れるのか。
石原館長	書架と書架の間の幅は厳しい。車椅子の方同士がすれ違うことは現状では難しい。
六原委員	今の図書館の状態では、車椅子利用者へ声を掛けて「来てください」「来ませんか」というのは難しい状況なのか。
長谷川副委員長	これまでの間に全く来館が無かったわけではない。子どもが車椅子に乗り、親や大人が押しているケースも若干あった。確かに書架と書架の間は狭く、そこでUターンはできず、大きな棚の通路まで行って方向転換しなければならず、使いにくい状況ではあったが、全く無いということではなかった。
倉品委員長	新図書館では、そのことは十分に考えているのでは。今の時代だから。
恋塚生涯学習課長	8月下旬に設計が進んできた段階で、ユニバーサルデザイン施設利用懇話会を予定している。団体の代表、専門家が集まった場で、そういった方々に配慮できている施設かどうかを審査する機会があり、じっくり議論する予定だ。
関谷委員	用語について。資料の6ページで、ボランティア行事の対象が「児童」となっているが、児童は小学生を指すのでは。参加者はほとんどが幼児のため、「児童」ではなく「児童+幼児」と書いた方が良い。
倉品委員長	次回から反映したい。
山田委員	用語がわからないため質問したい。資料No. 2、4ページ、イの利用種別ごとの利用冊数にある「広域利用」「相互貸借」とは何か。同ページ(8)「レファレンス」とは何か。
石原館長	「広域利用」とは、三条市だけにとどまらず、燕市、見附市等の協定を結んだ地区の方が三条市立図書館の本を利用した貸出点数のこと。 「相互貸借」とは、図書館同士の貸出・借受の件数のこと。この場合の貸出は、三条市立図書館が他の自治体の図書館へ貸出しをする。借受は、自館にない資料を他の自治体の図書館から借受けて利用者に提供する。相

	互にネットワークでつながる貸出制度だ。 「レファレンス」とは、利用者からの質問を受け、それに対して図書館側で回答すること。例えば発達障がいについての本を知りたいとか、明治幕末のころの三条市の状況を知りたいなどの質問に対し、資料を自分たちで探し、他の図書館から取り寄せ、場合によっては国立国会図書館の資料を入手し、利用者に提供している。小学生から高齢の方まで、ジャンルも非常に広く、図書館員としてのスキルが問われる。
倉品委員長	先日、県立図書館を利用したが、返却は三条市立図書館でできるので便利だ。新潟市まで行かずとも、読み終えたら返せる。利用者のために良い。
山田委員	非常に便利になっていることを、一般利用者が知らない、わからない。「こんな本はあるか」と聞けば、調べて教えてくれることを知らない人が大勢いる。もったいないと思う。
倉品委員長	その辺りを配慮していただきたい。
長谷川副委員長	資料 No. 1 の 1 ページの図書館の利用状況、昨年度（平成 29 年度）の冊数が 431,150 とあるが、昨年資料（平成 30 年度開催時配布の資料）では平成 29 年の 4 月から平成 30 年の 3 月までの数字は 407,012 だ。数字が違っているのでは。資料 1-5 の 29 年度の総貸出冊数も 431,150 と数字が違っている。
石原館長	改めて数字を把握し回答する。
長谷川副委員長	それにより比較が違ってしまふ。なぜこのようになったのか。
中野業務責任者	昨年度の貸出冊数が「雑誌・視聴覚を含む」となっていた。去年のデータベースはそれが含まれていない状態だ。今年度出した新しい数値の方が、正しく含まれている数字になっている。
長谷川副委員長	去年が間違った数字なのか。
中野業務責任者	そのとおり。
長谷川副委員長	この推移も若干違ふが、これも含む、含まれない項目があるということか。
中野業務責任者	そのとおり。こちら去年のものは含まれていない数字だ。改めて今年出したものが、含まれている数字になっている。
長谷川副委員長	資料 1 の数字と、資料 1-5 の貸出冊数の推移の数字が違っている。
中野業務責任者	資料 1-5（平成 31 年度開催時配布の資料）では、BMの貸出数も含まれている。資料 1（平成 30 年度開催時配布の資料）の 1 ページ目では、BMの貸出数が含まれていないため、数字が異なる。
長谷川副委員長	BMの貸出数は抜かれているが、資料 1 の方の数が多い。428,000 になっている。資料 1 の総数は 431,200 と多い。項目が入ったり入らなかったりする理由を説明してほしい。
倉品委員長	最初の話では、貸出に雑誌等が含まれているか、含まれていないかという点で、数字が違っているということだった。
長谷川副委員長	この事務報告の数字も、去年の方がこの数字になっているため気になった。今のこの数字が正しいということか。
中野業務責任者	そのとおり。

倉品委員長	以降は、この算定方式でやるということで、確認してもらいたい。
松原委員	今年の春に京都の山中で、明らかに公立図書館から持ち出されて廃棄された本がたくさん見つかった。三条図書館本館での年間の盗難数に関するデータはあるか。
村山副責任者	年に一度、蔵書点検期間で全ての本の所蔵を棚卸しのようにチェックしている。その際、例年 400～600 冊程度の所在不明資料が発生している。
松原委員	原因は何か。主な原因は持ち出しか。
村山副責任者	その可能性もあるし、正しく棚に戻っていないために見つけられなかったことも考えられる。
松原委員	2週間の貸出で戻ってこない場合の対策というのはどうなのか。
村山副責任者	返却予定日から1カ月後に戻ってきていない場合、手紙や電話で返却をお願いしている。
松原委員	その返却率は、おおむね順当か。例えば100冊に対して、95冊は戻ってくるが、5冊ぐらいいは反応がないなど。
村山副責任者	7割、8割程度は返却されている。
松原委員	警察に言うべきことではないと思うが、例えば地区の民生委員や外部を含んだ対応はあるか。
村山副責任者	電話と手紙だけで督促を続けている。
松原委員	それでも返さない場合はどうしているのか。
倉品委員長	いわゆる盗難というか、パツとつまんで自分のバッグに入れたというのは、なかなか見つけにくい。実際あるのかもわからない。
村山副責任者	利用の仕方がわからずに、そうしてしまう方もいるため、お見かけしたときには「貸出をお願いします」と説明をしている。
松原委員	他の町で、確信犯はいるという話を聞いたことがある。袋を持っている人は怪しい。全部が全部とは言わないが。
村山副責任者	スーパーに置いているようなかごに「ご利用になりたい本を入れて、館内にお持ちください」と対策をしている。
松原委員	何か対策が必要だ。今の図書館であろうと、新図書館であろうと、盗む人は絶対盗む。新図書館では新しいシステムが入るようだが、本は税金から買われた大事な資産だ。
倉品委員長	心無い人がいると問題だ。対応策等を考えていただきたい。 次に、協議題(3)「平成31年度(令和元年度)の運営計画について」の説明をお願いします。
石原館長	(「平成31年度(令和元年度)の運営計画について」説明)
倉品委員長	(3)の運営計画について、何か質問はあるか。
六原委員	今までも図書館ボランティアとして活動してきた人数は多かったと思うが、ハッピーボランティア事業を始めたことにより、新たに人数は増えているのか。
石原館長	新たなボランティアは増えている。
梅田副責任者	具体的な数は申し上げられないが、新しく見かける顔も増えた。
石原館長	今は書架の整理や修理を行っている。

倉品委員長	協議題（４）「図書館等複合施設建設基本計画（案）について」の説明をお願いします。
恋塚生涯学習課長	（「図書館等複合施設建設基本計画（案）について」説明）
倉品委員長	（４）の基本計画について、何か質問はあるか。
笹倉生涯学習課長補佐	今のイメージの関係だが、20 ページ以降、前回の中間報告を見た設計業者が三条市に施設を提案したイメージ図だ。いわば設計業者がやりたいですと手を挙げた時点のものであり、情報としては古いことを了承して欲しい。
倉品委員長	要望が反映されることは、見とおしとしてあるのか。
笹倉生涯学習課長補佐	6月17日から7月5日までの3週間で、この基本計画に対し市民からパブリックコメントとして意見をいただき、回答を整理中だ。7月31日に、隈研吾氏を呼んでのワークショップを予定している。その場でも様々な意見をいただきたい。使い方に主眼を置いた意見をいただけるとありがたい。
倉品委員長	それを26 ページにある委員8名を中心に話を詰めていくのか。
笹倉生涯学習課長補佐	図書館の専門家ではなく、基本計画をつくるため、まちなかの施設としての視点から議論いただいた。ハードに主眼を置いた形だが、ソフト中心のところは、やはり図書館協議会の意見ありがたい。
六原委員	協議会での発言をどこまで聞いてくれるのか。議事録も省略しすぎだ。以前に一語一句変えないで載せるよう要望した。
倉品委員長	この議題だけで1日、半日かけることが必要だ。今出した要望はどこが受け止めるのか。
笹倉生涯学習課長補佐	生涯学習課である。
倉品委員長	7月31日にワークショップがあるが、電話や投書などの意見を吸い上げ、生涯学習課でまとめるということか。
笹倉生涯学習課長補佐	今回パブリックコメントを3週間募集し、2件の意見があった。どちらかというハードに主眼を置いているからか。今後はボランティアとの連携など、別の検討が必要と考える。 委員から主にソフトについての希望や意見を吸い上げていただき、まとめた形で精査や議論の場を設けたい。
倉品委員長	様々な要望など徹底的に協議を行い、良い図書館をつくりたい。
笹倉生涯学習課長補佐	図書館は他の公共施設と違い、思い入れの強い方々が多い。委員が吸い上げた意見を議論して集約させていく形が良い。
六原委員	ボランティア団体から何名かを呼び、話す機会が欲しい。以前、「生涯学習課で話を聞く」と言っていたが、公民館は暗く行きづらい。
恋塚生涯学習課長	一般市民の方が、おもむろに生涯学習課に来て、図書館への意見を述べるというのは、なかなかハードルが高いとは思う。31日のイベントは、興味がある方は来ていただけたらと思う。
山田委員	7月31日のイベントは隈氏の都合の関係だと思うが、急に決定したように感じる。いろいろなことを言いたくてたまらない。会合が必要だ。

石原館長	臨時会は必要な都度、開催できていることになっている。
松原委員	知恵を出し合い、より良いものを集めて、昇華させていく機会が必要だ。
六原委員	TRCからも、ぜひ案を出してほしい。
倉品委員長	こちらの議題については、本日の協議会では時間的にも協議しきれない。1ヶ月後に臨時会を開催し、議題を新複合施設のみに絞って話し合いたいが。
関谷委員	今年の初めにボランティアの代表者会があり、生涯学習課と結び付いて図書館を良くしようと意見があった。そういった私たちの意見を吸い上げてもらえると思う。
六原委員	それが課長まで届いているのか疑問に感じた。代表者会で課長にも聞いてほしかった。
笹倉生涯学習課長補佐	ハード面では3つの複合施設であること、鍛冶ミュージアムは必然的に目に入るよう1階にあることなど、大きな骨格はある程度固まってはいる。細かいところでは、2つの会議室は並んでおり、間仕切りは可動式、壁は全部ガラス張りなどを考えている。ガラス張りは困るのであれば、変更も可能だ。31日にいろいろ意見をいただきたい。
関谷委員	落ち着いて読み聞かせできるような書架のないコーナーがあると良い。
倉品委員	話し合うスペースはあるが、読み聞かせ用のスペースがない
笹倉生涯学習課長補佐	私どもがこの部屋をこちらにと言っても、設計者の判断で技術的にできないということもあり得る。
山田委員	入れることはできるのか。
笹倉生涯学習課長補佐	<p>予算的なことが決まっているため、例えば読み聞かせの部屋を広くするということになる、代わりに違う部屋を狭くしなければならないなどの制約がある。使い方を考えたとき、どの程度が最適なのか、意見をいろいろいただきたい。次回の話し合いは、もっとソフトの運用の部分でご意見を伺いたい。</p> <p>8月末までに基本設計として、部屋割り、予算がある程度決まるという段階を今予定している。その後、実施設計として、より細かいところを詰めていく。その中で、壁の位置は変更できないが、ガラスではなくカーテンが必要など、そのような細かいところはまだ間に合う。</p> <p>7月31日のワークショップのイベントでの意見や、ユニバーサルデザイン施設懇話会での意見を実施設計で反映したいと考えている。</p>
六原委員	<p>複合施設で、図書館として1個で建てるわけでないことは承知している。従来の図書館とは違った形になるのは仕方ないし、当たり前だ。</p> <p>従来のこの施設も利用して書庫にするのであれば、誰が本を取りに行くのか。</p>
笹倉生涯学習課長補佐	現在の蔵書が34万冊程度あり、新図書館にほとんどが移るため、ここ(現図書館)には幾らも残らない。いわゆる頻度の少ない図書がこちらに残ることになると考えている。
倉品委員長	今回の協議会で、新複合施設についての要望がいくつか出ているが、次回の臨時会の開催を予定している。その際に、ソフトの面も協議をしたい。こちらの議題については、これで締めたいと思うが他に意見はあるか。

松原委員	一つ確認したい。アクセスの問題だが、この 14 ページのパース図では鍛冶道場からも駐車場に行けるようだ。その隣の道路、旧西別院側の道路のほうから、別院の古い壁が建っている。それを壊して直接入れるようにしてはどうか。
笹倉生涯学習課長 補佐	その塀は市のものではない。
松原委員	ぜひ交渉していただきたい。鍛冶道場の駐車場を抜けて、図書館の駐車場にそのまま入れるならば、本町方面からのアクセスは格段によくなる。
笹倉生涯学習課長 補佐	現在、鍛冶道場の南側の横の道路は市道であり、そこから駐車場にアクセスができるようにと考えている。
松原委員	今、柵があるが、それを取り払うのか。
笹倉生涯学習課長 補佐	そのとおり。要望として、土地所有者の方と話をすることは可能だが、希望に沿えるかは分からない。 鍛冶ミュージアム、鍛冶道場の担当は商工課であり、何度かこの土地所有者の方にあたっている状況だ。
松原委員	もう一つ、その隣の小さいほうにもブロック塀が建っている。あれは壊れそうな危ないブロック塀だ。
笹倉生涯学習課長 補佐	注意というか、張り紙がしてある。
関谷委員	駐車場は足りないのではないか。
笹倉生涯学習課長 補佐	元々のグラウンドも半分は駐車場に、残り半分はイベントで使えるようにと考えている。
松原委員	先程の盗難対策、BDSについて伺いたい。
笹倉生涯学習課長 補佐	いわゆる万引き防止システム、入り口の両側に機械が立っており、そこを通ると音が鳴る。先ほどの図書の紛失が、年に何百冊となるため導入したい。盗難防止だけではなく、貸出返却の効率化も図れるため職員の負担軽減になる。
石原館長	資料にICチップを埋め込み、置くだけで貸出返却処理ができる。
松原委員	全国で、図書館利用カードが有料化している事例は、どのくらいあるのか。
石原館長	例えば八戸市では、紛失した再発行の場合、3回目からは有料で100円程度だ。
松原委員	三条市はいずれ大学と看護学校をつくり、財政的に非常に厳しい状態になる。やはり有料化してもいいのではないか。金額は1,000円。
石原館長	ICチップを入れたカードでは、それなりの料金がかかる。
松原委員	どういう基準で再発行をするか、先行事例を参考にして。例えば資料を紛失したら有償で買う。そういう意識が本を大事に扱う、丁寧に扱う。ハードだけでなく、そういう気持ち、そのための有償化ということを検討するような時代ではないのか。
笹倉生涯学習課長 補佐	ある図書館での視察の際、「本は借りてきて家に帰れば、飲み食いしながら読むから同じですよ」と、その図書館では飲食禁止ではないと聞い

	<p>た。条件としては、飲み物を運ぶときは蓋付きのもので、というだけだ。今度、新しい施設でも似たような形、カフェで購入した飲料などは蓋をした状態であれば、読書スペースに持って行って、飲みながら本を読んでもいいというふうにしたい。</p>
倉品委員長	<p>飲むコーナーを作ればよいのでは。</p>
笹倉生涯学習課長 補佐	<p>ゆっくり本を読みながら飲むという意味合いで、そこまでしなくてもという、逆に縛りをつけないという考え方だ。意見を伺いたい。</p>
倉品委員長	<p>臨時会の開催も予定しているため、ここで締めさせていただきたい。次回臨時会の日付は、8月28日を第一希望として話を進めてほしい。</p>